

●対象活動:江(水田ビオトープ、生き物緩衝帯)の設置

組織名	
氏 名	

ほ場名(番号)	実施面積	作物名(5割低減)

※実施面積は法面や畦畔を除いた値とすること

1. 対象活動

(1)主な作業等

作業名	実施状況	実施時期 (年月日)	備考
本年取組向けの作溝作業	<input type="checkbox"/> 新設		
<input type="checkbox"/> 作溝作業の実施あり	<input type="checkbox"/> 延長( )		
<input type="checkbox"/> 作溝作業の実施なし	<input type="checkbox"/> 補修( )		
( 令和 年 月 頃設置)	【江の形状】 長さ m 、水面幅 cm 、深さ cm		
深みの設置	底面からの深さ cm 、 設置数 箇所		

(2)江の設置箇所への除草剤の使用実績(本田内の除草剤使用実績を除く)

☐ 使用無し

(3)江の設置期間

	実施状況	備考
湛水開始時期		
湛水終了時期		
湛水期間	日間	

(留意事項)ウシガエルやアメリカザリガニ等の侵略的外来生物が生息する場合は水を抜いて駆除を検討する。  
生き物調査などモニタリングを合わせて行うことが望ましい。

2. 使用肥料(5割低減の取組)

資材等の名称	化学肥料 窒素成分 の割合(%)	使用量 (kg/10a)	【5割低減】 化学肥料 窒素成分 (kgN/10a)	【慣行レベル】 化学肥料 窒素成分 (kgN/10a)	使用時期	備考
合計						

(注1)化学肥料のほか、指定混合肥料、混合堆肥複合肥料、混合汚泥複合肥料等などの化学肥料窒素成分を含む肥料を施用する場合は全て記載すること。

(注2)適宜、行を追加して記入すること。

3. 使用農薬(5割低減の取組)

農薬名 (商品名、剤型)	用途		【5割低減】 節減対象農薬 成分回数	【慣行レベル】 節減対象農薬 成分回数	使用時期	備考
合計						

(注1)有機農産物の日本農林規格で使用可能な表B.1の農薬も含め、使用した農薬は全て記入すること。

(注2)適宜、行を追加して記入すること。

4. 保管書類

☐現地確認を写真で行う場合

☐がある項目については、該当する項目の□に■又は✓を記入すること。